

月刊 ギフト PREMIUM

01 2024 January No.652

PREMIUMは英ビジネスガイド社の登録商標です。

ウェルネス、80億人のギフト
eスポーツの展開可能性

第3弾

2024年 ギフト新時代 トップ8人の決意

<https://www.giftbook.co.jp>

Owned Media

社内で連携してWebサイトのコンテンツ作りを!

企業・店舗の開業や移転祝い、昇進祝いやアワードなど、企業への贈り物に最適なギフトサービス「オフィスギフト」を展開・運営している株式会社ウェブギフト。同社の「オフィスギフト」の仕組みは、基本的には一般的なカタログギフトの仕組みと同じで、贈り主が購入したカタログギフトを贈り先の方に配送し、受け取った方はカタログを見て好きな商品を選ぶことができる。一般的な冊子のカタログギフトとの違いは、贈り先の方がスマートフォンやパソコンでカタログギフトを見てネット注文ができること。また、贈り先



▲「オフィスギフトコラム」のサイト。調査データ、相場やマナー、文例、ランキングなど様々な種類の記事を掲載している



▲シーンやオカージュに合わせて、ギフトの贈り方のハウツーノウハウも解説

の住所が分からない場合はLINEでプレゼントすることも可能だ。

同社の「オフィスギフト」は、ギフトコンシェルジュをはじめ、バイヤー、カスタマーサービス、システム保守、デザイナー、全てのスタッフが連携をとって、少しの気付きから商品をブラッシュアップしていく姿勢を大切にしている。「オフィスギフト」サイトの中の読み物記事である「オフィスギフトコラム」について同社広報に聞いた。

Q「オフィスギフトコラム」の記事のテーマは、どのように立てていらっしゃるのでしょうか。

A 様々なギフトシーンにおける一般的なマナーやプラスαの豆知識などを発信しています。また、贈り物に役立てていただくための情報を発信しています。また、贈り物に関する課題を解決できるコンテンツ作りにも注力しています。

オフィスギフトの5つのセールスポイント

- 1.人と環境に優しい、SDGsに参画したギフト**
ネットで完結するので、贈り主様・贈り先様、双方の手間が少なくなります。
- 2.「女性向けの商品が多い」を解消**
多様性が尊重されるようになった現代において、誰に贈っても喜ばれるカタログギフトを追求しました。アイテムを充実させるため「グルメ・飲料」「家電」「生活雑貨」「オフィス用品」「趣味のアイテム」「ブランド品」など、選べる商品のジャンルを大幅に拡大。商品自体も男女問わず贈ることができるベーシックなデザインにしています。
- 3.「欲しいものが見つからない」を解消**
商品総掲載数は約7,000点に上ります。さらに、若年層や持ち物にこだわりがある方も満足できるよう、プロのバイヤーが流行に合わせて毎週ラインアップを更新しています。誰に贈っても「欲しいものが必ず見つかる」実用性の高いカタログギフトなので、どのようなシーンでも活用しやすい商品設計となっています。
- 4.「注文が面倒」を解消**
お客様の負担を最小限に抑えるため、カタログギフトの種類は全て同じで、ご予算に合わせて選ぶだけです。また、商品の注文などは全てスマートフォンやパソコンで完結します。
- 5.プロに直接相談できる**
「ギフトコンシェルジュ」への無料相談窓口があり、利用シーン・贈り先様との関係性を事前にヒアリングすることで、予算や胡蝶蘭とのセットプランなど、お悩みに合わせてプロの提案を受けることも可能です。また、この無料相談窓口は、お客様の声を直接聞くことができる貴重な機会ですので、商品やサービスの改善のヒントとしても大切なコミュニケーションツールとなっています。

Q コラム記事の読者対象となる「オフィスワーカー」「ビジネスパーソン」向けの話題として、工夫されている点などはございますか。

A ビジネスシーンにおけるギフト事情を調査し、一般的なマナーやプラスαの豆知識など、有益に役立てていただけるように進行しています。また、喜ばれるギフトの贈り方や添えるメッセージの文例など、B to B や社員同士の関係構築にお役立ていただけるような情報も発信しています。

Q Webメディアとして、他社との差別化につながるアイデアやお取り組みがありましたら、教えてください。

A 巷に転がっている情報を集めただけのコラム記事にならないよう、自社のデータベースを元に傾向を調査したり、一般の方へのアンケート調査を行ったりしています。また、販促は一切広告に頼っていません。コラム記事を読んで信頼してくださった方や口コミや紹介で知ってくださった方、リピーター様の利用が多く、感謝しております。